

# 議会 とよとみ

豊富町議会広報紙

## 3月定例会

[3月9日~13日]

豊富町議会からのお知らせ

新年度予算特集	2
◇令和8年度予算審査	
一般質問	7
議会が町のコトチェック	12
議会レポート	14
◇広聴会「特別養護老人ホーム温心園」	
◇活動報告「提言書提出」	
高校生の声、中学生の声	16

「議会とよとみ」はスマートフォンでも見られます



昭和35年 元湯館



昭和41年 豊富温泉スキー場

ありがとう。奇跡をつないで100年



豊富温泉 開湯100周年  
TOYOTOMI SPA 100th ANNIVERSARY

### 豊富温泉 開湯100周年

豊富温泉開湯100周年  
特設サイト▶



5月17日 おめでとうございます

日本にただ一つ「奇跡の湯」さらなる発展を心よりお祈り申し上げます



昭和42年 温泉街



昭和32年 R1号温泉井戸

# 3月定例会 新年度予算 特集

大雨被害草地更新支援  
対策事業補助金  
ゴルフ場大雨被害復旧  
状況

佐々木 誠 議員

## ココを見る!

せろくツ団地の再開発について

議長 千葉 久 議員

(前年比11.0%増)

町民が住んで良かったと  
誇れる町づくり  
子供達が未来への  
ふれあい交流など希望の  
持てる町づくり

副議長 鎌倉 和雄 議員

空家対策について

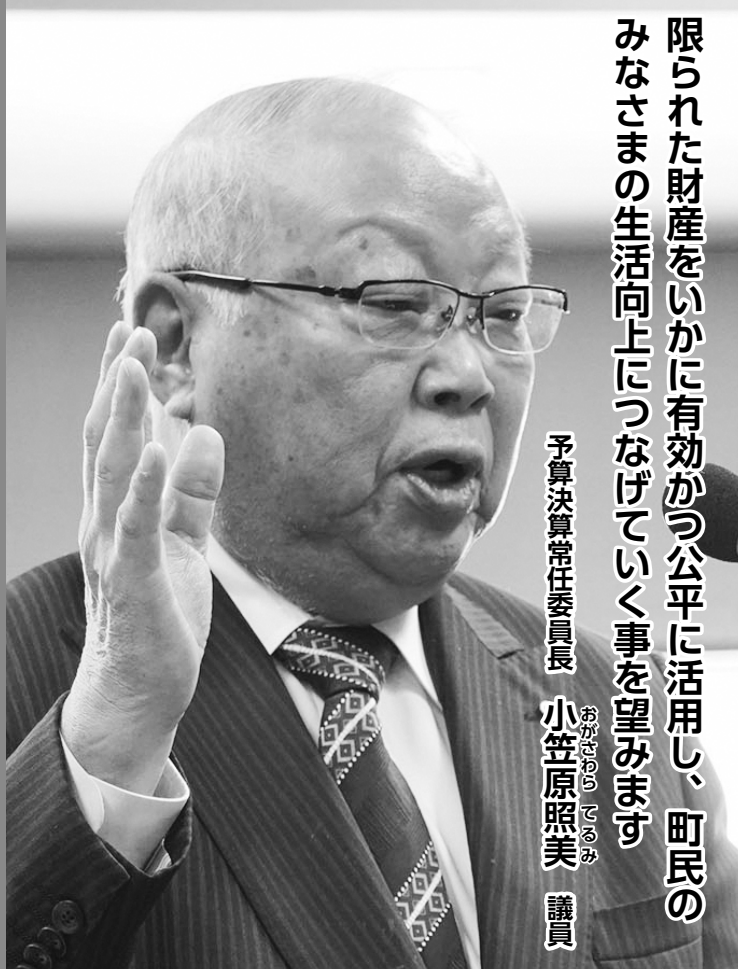
多々良 勝 議員



災害復旧とインフラ整備  
竹中 隆浩 議員



防災対策の強化  
佐々木政義 議員



限られた財産をいかに有効かつ公平に活用し、町民のみなさまの生活向上につなげていく事を望みます  
予算決算常任委員長 小笠原照美 議員

# 令和 8 年度予算 私は



当初予算 一般会計

# 64億193万2,0



地域住民と協働によるインフラ整備  
前田 孝一 議員



経験のない豪雨でした  
災害復旧はまだ終わって  
いません  
水戸部正博 議員

# 予算 審査

## 予算審査とは？

議員は1年間の計画をもとに、町から予め提出された「当初予算」に対して、町民の声が反映されているかを確認するため、予算決算常任委員会に付託して慎重に審査し、決定する必要があります。

今回は、実際に行われた予算審査の質疑応答の一部をご紹介します。

### 特定健康診査未受診者対策委託料 **国保会** 費用対効果の再検討を **計**

**千葉議長** 費用対効果の検討課題として、自分たちでできるものは自分たちで対応し、国保加入者への受診勧奨を町でできないのか。

**保健推進課長補佐** 現在委託先において、春の健診に向けて電話での受診勧奨を実施している。健康寿命の延伸を国からも言われており、受診勧奨は民間業者を活用し、確保できた時間を命に関わる事業にあてていきたい。

### 防災対策事業 **総務** 理解できる避難体制を **費**

**前田議員** 観光地に外国の方が多く訪れるようになっている現状で、避難誘導や場所が把握できるような体制になっているのか。

**防災監** 徹底されている状況ではないため、多言語化の資料を観光地や温泉施設と連携しながら配置し、常日頃から心がけていただけるよう対応する。

### 豊富温泉100周年記念事業補助金 **商工** 後々に残る事業の努力を **費**

**鎌倉議員** 外に向けての発信やかたちに残すことも大事であり努力が必要ではないか。

**町長** イベント内容は、若い方達や実行委員会の意見を尊重する考えであり、ドキュメンタリー映像制作や看板製作を予定しており、手ぬぐいなどの記念グッズ配布と商工夏まつりや豊富駅100周年とコラボで後世に残る取組みを実施する。

### 簡易水道事業会計・公共下水道事業会計 **上下** 使用料値上げの検討を **水**

**小笠原議員** 繰入にも限界がある。使用料の値上げを検討してはいかがか。

**町長** 相当厳しい状況にある。コロナ感染症や豪雨災害で検討が進められなかったところはある。ライフラインは一定の負担をいただき、料金は見直さなければならないと思っている。

今年度も  
スタート

## 注目事業をピックアップ

### 総務費 防災対策事業【備品購入費】

5,012千円

防災対策に必要な防災備蓄品として、大型ストーブ2台、ポータブルストーブ15台、大型扇風機20台、除湿器6台、スタンドライト10台、コードリール15台、アルミマット200枚、排水用ホース4本を確保する。また、想定浸水深標識を制作し、3年計画で40か所（R8は13か所）に設置する。

### 民生費 保育園トイレ改修事業

18,546千円

昭和58年建築時のトイレ改修を行い、感染性胃腸炎の防止や園児のプライバシー保護への配慮と行事の度に混雑する職員トイレなどの環境改善を図る。

- ・園児用トイレの洋式化と職員用トイレを個別トイレ2か所へ改善
- ・床のクッションフロア化

### 商工費 元気な湯治プロジェクト事業【委託料】

9,633千円

湯治客や長期療養者で温泉を訪れる方々をはじめ、多くの観光客や地域住民に温泉を利用していただくため、コンシェルジュデスクや健康相談員を設置する。また、年4回開催される体験プログラム（温泉や自然公園散策など）や運動指導を実施し、温泉の振興に向けた取組みや活性化につなげていく。

### 土木費 雪寒機械購入事業

136,991千円

除雪車購入事業費

- ・除雪ドーザ（14t級）～業者から借上げて稼働しているドーザを、公用車として1台購入する。
- ・ロータリ除雪車～東地区の除雪車が作業時間が長く、故障頻度も多いため、1台購入し更新する。

## 予算決算常任委員長の審査報告

### 創意工夫で健全財政の堅持を希望する

おがさわら てるみ  
予算決算常任委員長 小笠原 照美

本委員会は、一般会計をはじめ各特別会計及び各事業会計予算案の付託を受け、3月9日から11日までの3日間にわたり審査を行い、その結果、各会計予算案につきましては、採択すべきものと決定いたしました。

今後の予算執行につきましては、事務事業などを十分精査し、経費の削減に努めるとともに、各種事業の実施にあたりましては、早期の適正な執行を強く望み、さらに創意工夫により、健全財政が堅持されますことを希望します。



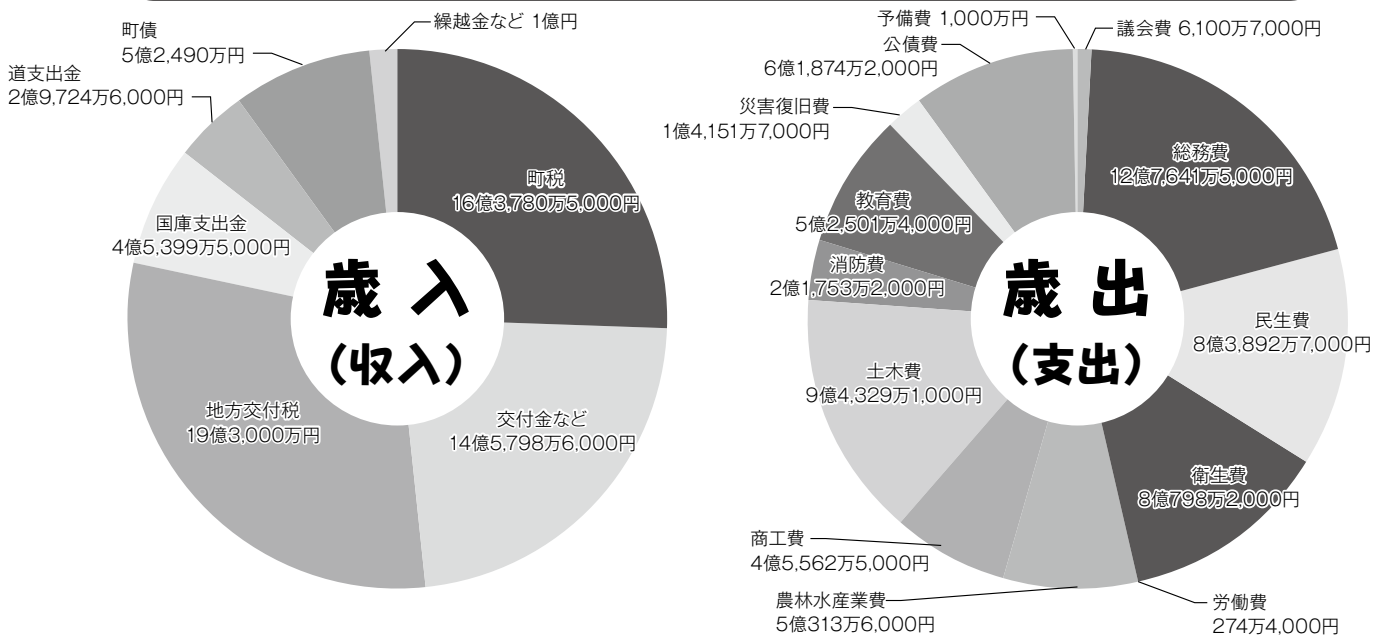
3月定例会は、令和8年3月9日から13日の会期5日間で開かれました。  
 一般質問では3名の議員が登壇し、町長へ6件の質問をされました。  
 また、町長から提出された2件の条例制定、11件の条例改正、1件の条例廃止、1件の市町村計画変更、1件の権利放棄、9件の補正予算、9件の新年度予算については、全て原案可決及び採択されました。

## 3月定例会の あらまし

## 令和8年度各会計予算

会計名	令和8年度当初予算額	令和7年度当初予算額	伸率	
一 般 会 計	64億193万2千円	57億7007万5千円	11.0%	
特 別 会 計	国民健康保険	6億58万6千円	6億448万4千円	-0.6%
	後期高齢者	8751万4千円	6910万5千円	26.6%
	国保険診療所	5億7156万5千円	5億7807万3千円	-1.1%
	介護保険	4億9258万5千円	5億906万9千円	-3.2%
	介護サービス	427万3千円	423万1千円	1.0%
	簡易水道	6億4058万6千円	4億6675万9千円	37.2%
	公共下水道	5億7728万7千円	4億2688万9千円	35.2%
ガ ス	9404万3千円	1億2064万5千円	-22.0%	
合計	94億7037万1千円	85億4933万円	10.8%	

## 令和8年度 一般会計64億193万2千円の内訳



## 令和8年度町政執行方針

光陰矢の如しといいますが、2期目のラストイヤーとなります。これまで町民の皆様、議会議員の皆様、職員一同にご支援ご協力いただき、行政を推進できたことに感謝とお礼を申し上げます。

豊富イノベーション政策で進めてまいりました目標を達成し、豊富町の皆様方のために町政に全力を尽くす決意であります。

「笑顔で豊かに暮らせる町づくり」をスローガンに、本町の資源を最大限に活用した経済振興や、より良い行政システムをAIを活用し、豊富町の未来のために具体的施策に取り組んでまいります



豊富町長  
河田 誠一

# 一般質問

## ココが聞きたい!



### 一般質問とは?

議員が町の事務の執行状況や将来の方針について、町長などに説明・報告を求め、町が町民のための適切な町政運営を行っているかを確認するものです。

今回は3名の議員から一般質問が提出されたのでご紹介します。

**10番 鎌倉 和雄** ..... P7

- ・ブラックアウト災害の発電機購入助成について
- ・保育園の保育料について

**5番 佐々木 誠** ..... P8

- ・本町役場庁舎屋上での職員の喫煙問題で次の3点について
- ・本町の基幹産業を担う次世代育成と中高生の海外研修について

**4番 小笠原 照美** ..... P10

- ・豊富町と北海学園大学との包括連携協定について
- ・特別養護老人ホーム温心園の職員用APの空調設備等の整備について

## 問 ブラックアウト災害の発電機購入助成について



### 町長

公助・共助・自助の役割分担が重要  
商業機能維持は補助金活用と個人住宅は自助の原則が基本

### 議員

近年、中頓別町周辺で群発地震が発生し、同様の被害が発生した時の対策を早急に取り組むべきと考えます。いつ起こるか予測できない災害、特にブラックアウトは、胆振東部地震を経験し、酪農家等は発電機を準備しましたが、企業や商店への対策や電力確保が行われておらず、停電による被害が想定され、食品等の保冷は災害時のなかで最重要課題と考えます。企業や商店に対する災害を見据えた商工業活性化資金の補助率拡大等の助成を広く推進することが必要で、発電機購入助成事業を考えないのか町長に伺います。さらに、個人宅への電力確保に同様の資金援助ができないのか併せて町長に伺います。

### 町長

中頓別町周辺での群発地震の発生状況を踏まえ、本町における地震対策の強化は重要な課題であると認識しております。

胆振東部地震でのブラックアウトを経験し、酪農家では搾乳・冷却機能の停止により甚大な影響を受け、国やJA関連の支援制度を活用しながら発電機の整備を進め、約9割の酪農世帯で電源が確保され、本町の基幹産業を守るための優先的かつ戦略的な対応であったと考えています。企業・店舗・個人住宅への発電機購入助成は、災害対応には「公助・共助・自助」の役割分担が重要であり、町が担う責務は「生命の保護」「医療福祉機能の維持」「地域経済の基幹機能の維持」であると考えております。

商業機能の維持は重要な課題であることも十分認識をしておりますので、商工業活性化事業補助金を活用いただき、個人住宅は自助の原則を基本とし、家庭用蓄電池や小型発電機の備蓄に関する啓発・防災教育の充実を図り、防災力向上に取り組んでいきたいと考えております。

**議員** 災害はいつ起こるか分からないので、そのことからすると個人も含めて、商工業の発電機導入は早めに出すべきだと思います。災害が起こってからでは間に合いません。

**町長** 電力確保の関係、再度答弁をお願いします。

**町長** 議員のご指摘のとおり、災害はいつ起きるか分からない。

## 問 保育園の保育料について

**町長** 園児数の推移や人材確保と保育スペースを考慮し検討する

**議員** 保育料は現在無償化されているところですが、3歳未満の保育は応分負担となっています。

さらに、延長保育も30分200円とありますが、すべて無償化して保護者の負担軽減を施策とする考えがないのか町長に伺います。

**町長** 令和元年10月から子ども子育て支援法の改正により、幼児教育保育の無償化が実施され、3歳5歳児は全て無償となり、0歳2歳児は住民税非課税世帯を対象に無償化されております。さらに本町では、

先ほども答弁しましたが、災害は、公助・共助・自助の分担がある程度されており、我々はしっかりと「公助」を進めていきたいと考えております。

商業主は、商工活性化事業を進めておりますし、各家庭は、自助のところまで考えていただけたらありがたいと思っております。

多子世帯の軽減措置として、第2子半額・第3子以降無償としているほか、年収360万円未満相当世帯は第1子から年齢を問わず無償としています。

**議員** 質問の未満児保育料及び延長保育料の無償化は、今後の園児数の推移や人材確保と保育スペースなどを考え合わせ検討を進めていきたいと考えております。

**議員** 延長保育の200円や3歳児未満保育の応分はトータルで300万円くらいだと聞いています。

この対応ができないのかどうか。先ほど町長の執行方針にもいる書いてありますが、中身が伴っていません。

**町長** 全体で300万円程度の費用だというお言葉でございます。

が、町としては、非課税世帯のところは無償化しておりますし、ある一定の所得がある方にはご負担をさせていただくという考えでありますので、今後、検討を進めてまいりたいと思っております。

## 問 本町役場庁舎屋上での職員喫煙問題について

**町長** 3月10日より特定屋外喫煙場所を廃止し庁舎内全面禁煙を実施する

**議員** 現在、役場庁舎では、庁舎屋上に一部職員が喫煙されておりますが、

①令和2年の法改正により、行政機関の「敷地内禁煙」が義務化されており、改正健康増進法における、第一種施設（施設内禁煙）の規定に抵触しないのか。また、屋上から庁舎内への煙の流入（受動喫煙）をどう認識しているのか伺います。

②地方公務員法第35条の「職務専念義務」について、1回の喫煙休憩を10分15分とし、1日数回繰り返した場合は、年間膨大な勤務時間が喫煙

に費やされていることとなります。これは、町民の疑念を抱く行為ではありませんか。給与の支払い対象となる稼働時間をどう把握しているのか伺います。

③非喫煙職員が勤務に従事している間、喫煙職員のみが離席を繰り返すことは、職場内の公平を欠くと考えますが、各診療機関では、様々な禁煙外来がありますので、禁煙サポートプログラムを実施し、保健師の協力を得ながら、さらに費用補助も行って、職員の健康と業務公平化を図るべきと考えますが見解を伺います。



佐々木 誠 議員

本町としては、今後、勤務時間内の喫煙禁止で業務の公平化を図り、受動喫煙の防止をし、しいては庁舎全体での禁煙の達成を図るべきと考えます。

**町長** 健康増進法により、自治体庁舎は「第一種施設」に該当し、原則敷地内禁煙が基本であります。が、屋外に一定の基準「①区画されていること②喫煙場所標識③施設利用者が通常立ち入らない場所」を満たすことで、喫煙場所を設置することは可能であることから、法令に適合した特定屋外喫煙場所を屋上に設置していた状況です。

議員ご質問の要旨にありますように、屋上から庁舎への煙の流入などの課題があることから、令和8年3月10日より屋上に設置しております。特定屋外喫煙場所を廃止し、庁舎内全面禁煙を実施するとともに、町としても職員の健康保持増進に努めてまいりたいと考えております。

**議員** 町長から「喫煙所を廃止する」という決断を頂きまして、深く敬意を表したいと思います。

ただ残念なことがあり、屋上を撮影した写真では、特定屋外喫煙場所を示す壁やパーテーション、白線や標識もありませんでした。簡単にドアを開けて屋上に出ることもできました。これは違法な状態で喫煙場所を設置していたことになりませんが、

「特定屋外喫煙場所の廃止」を受けて、「①庁舎敷地内は完全禁煙・勤務時間中の禁煙を宣言し徹底する②公用車内も運転される方の受動喫煙防止の観点から禁煙とする③禁煙プログラムへの参加奨励や費用補助を実施する」以上の対応をされるか町長に質問します。

**町長** 先ほどご指摘いただきました屋上の禁煙施設に、不備があったということと謝罪をしたいと思えます。

ご質問を受けたものは検討させていただきます。禁煙の方向になっていくんだろうと思っております。

**議員** 勤務時間中の禁煙制限等の徹底を図っていただきたいのは、庁舎内で吸えないから、外へ行って車で出ていき、タバコを吸う職員が出てくると、町民に言われる原因になると思いますので、その辺は徹底していただきたいと思えます。

**町長** 勤務時間内に表へ行って喫煙することは、当然個人の良識の部分もありますので、その辺はある程度は徹底していきたいと思えます。けれども、法令ともを照らし合わせて、しっかりと対応させていただきたいと思えます。

## 問 本町の基幹産業を担う次世代育成と中高生の海外研修について

**町長** 主体的意見を尊重し海外研修も含めた次世代のあり方を検討する

**教育長** 生徒や保護者の意向を優先し課題整理と世界情勢を考慮しつつ検討する

**議員** 本町の未来を支える「人づくり」、特に基幹産業である「酪農」と「観光」の持続可能な発展を見据えた、中高生の海外研修について質問します。

町の経済と景観を支えてきた酪農は、資材高騰や担い手不足といった厳しい波にさらされており、観光もインバウンドという世界規模の競争のなかに置かれています。こうした中、町が守り続けてきた産業を「守る」だけではなく、次世代が「攻めの姿勢」でアップデートしていく必要があると考えており、その鍵を握るのがこれからの町を担う中高生たちです。多感な時期に世界の最前線、例えば世界基準のアニマルウェルフェアを実感する酪農先進地、また、先日町長が発言したメガファームや世界の観光客を惹きつける高付加価値な観光地などを肌で感じる経験は、彼らにとつて一生の財産となり「わが町の牛乳の美味しさ」や「この町の自然や温泉の良さ」という当たり

前と想っていた自然の圧倒的な価値に気づく「自己再発見」の機会でもあります。

「世界を知り、地域を愛し、変革を起こす」そんな人材に、町が公費を投じて、育てることは10年後20年後の本町の経済を担保するための最も確実で価値のある「投資」ではないでしょうか。

そこで、本町における中高生を対象とした、基幹産業特化型の海外研修実施に向け、町長及び教育長の考えをお聞きます。

**町長** 本町の基幹産業である酪農業をはじめとする一次産業の持続的発展のためには、次世代を担う人材の育成が極めて重要であると認識しております。

担い手不足や高齢化が進む中、海外での経験は、語学力向上だけでなく、価値観の違いを体験し、自ら考え行動する力を養う機会であり、経営感覚や視野拡大につながる場でも

あります。

議員のご質問の要旨にもありますように、「わが町の牛乳の美味しさや温泉の良さの自己再発見」は、これからの担う若者には大切なことであると思っておりますので、生徒本人の主体的意思を尊重し、保護者の考えや教育委員会、道教委などの意見をいただきながら、町全体で海外研修も含めた次世代育成のあり方を検討してまいります。

**教育長** 私からは、修学旅行の観点からお答えいたします。

まず、高校生の海外への修学旅行は、数年前に高校と協議した経過がございます。

第一には、生徒や保護者の意向を優先すべきものと考えますが、行先の選定や治安等を確認するための一年前の視察、パスポートの取得や引率教員数の調整、経費負担など、多くの課題があり実現には至りませんでした。

次に、中学生の海外への修学旅行は、過去に協議した経過は無いものの、高校と同様の課題があると考えております。

「世界を知り、地域を愛する人材を育てること」は、我々も大変重要なことだと感じておりますが、今後は、必要に応じて生徒や保護者、対応する教職員の意向を確認し、課題を整理しながら、世界情勢も考慮しつつ検討してまいりたいと考えております。

ります。

**議員**

行先として、英語圏のニュージーランド、シンガポール、オーストラリアで、夏休みなどを利用した1〜2週間の語学・文化・観光・酪農等の体験で、まずは意欲ある生徒を選抜して、反省点を次年度以降につなげ、帰国後には町民向けに報告会を開催し、経験を地域に還元する仕組みをつくり、この町にいれば、海外に挑戦できるという環境をつくることは、豊富高校存続や子育て世代の定住意識を高め、究極の少子化対策、定住促進になるのではないかと考えますが、町長・教育長の考えを伺います。

**町長**

ニュージーランド、シンガポール、オーストラリアの1〜2週間程度とのご提案ですが、教育長答弁のとおり、修学旅行で海外を検討した経緯もあります。コロナ感染症で実現に至りませんでした。高校存続に向けた部分としても有効であると感じておりますので、海外研修というのをどういう形で進めていくのか、私一人で決められるものでもございませんので、これから関係機関と協議をし、ちよっとハードルの高い部分もありますが、進めていきたいと考えております。

**教育長**

高校存続に向けて海外研修を検討した経過があり、引率数を

の問題や道教委の考え方など、ある程度の補助を受けながら前向きな回答を示したこともありましたが、生徒にアンケートで確認したところ海外に余り興味を持ってなく、国内に行

## 問 豊富町と北海学園大学との包括連携協定について

**町長**

大学生が将来的に町内での就職・起業・事業継承へのつながりに期待する



おがさわら 照美 議員

きたいという部分と並行しながら、教育時数の問題も出てきますので、町長も先ほど言いましたが、何とか自分も実現したいという考えを持ち、検討を進めていきたいと思えます。

**議員**

令和3年6月に地域課題の適切な対応と、活力ある地域社会の発展や未来を担う人材の育成など地域貢献に寄与することを目的として同協定が締結されましたが、4年を経過しての課題として、地域課題解決のためにプロジェクトの実施が必要で、町が大学・地域との間で目的意識の共有を図り、プロジェクト実施にかかる予算の確保や今までの取組みの効果について、地域の認知度不足が考えられますが、今後の取組みについて、町長の考えをお聞きます。

**町長**

令和3年の豊富町と北海学園大学との包括連携協定締結後

の取組みとして、令和4年度には教授を招き、町民対象に「人口減少における町づくりと人づくり」の特別講演や令和6年度には環境省予算を活用し、大学と観光協会が主体で「ワクワクとよとみ未来会議」を発足、若者を地域に呼び込むための議論を行い、令和7年度は「酪農感謝祭2025」のイベント運営の参加、公設塾にも協力をいただいております。今後も町内のイベントに参加していただき、企画運営に携わり、地域に密着していただくことで、将来的には大学生が町内での就職や起業、事業継承へのつながりに期待し、各種取組みの効果は、公式SNS、広報とよとみ、町ホームページを活用

するなど、広く周知を図っていきま

### 議員

今町長が答弁された内容はよく分かりませんが、実際に生徒が来て活動するのは、町の仕事ではなく、環境省の年間200万円が主体で活動しており、何をやるのか分からないのが実態です。

町長が言ってるような、地域経済の課題共有化とはかけ離れた動きという認識であります。

今後、補助金が終わった段階で、これからどうしていくのか。今後も協定の内容に沿ってやっていくとしたら、今まで3年間で600万円の多額の補助金がついてますから、それに見合うだけの予算っていうのが可能なかどうかをお聞きしたいです。

### 町長

北海学園大学と連携しゼミの学生が来てくれて、豊富町とでもよかったという評価も頂いたり交流は進んでおります。

議員ご指摘のとおり、町予算を使わず大学も環境省の補助金を探していただき、地域と連携がとれるように独自の予算の中でやっていただいているというのが現実であります。町のホームページなど、積極的に発信していくことが足りなかったところは感じております。

提携を結んだきっかけとして、町

経済もありますが、多くの学生に豊富町を知っていただいて、将来的には豊富で働いていただけるようになっていけば非常にありがたいところもありません。

今後は、来ていただいている教授が、再生エネルギーの権威でもありますので、教授を含めてどういう形で進めていくのか、当然、我々としても、必要なものに対しては、ある程度の費用負担をしっかりと協議を進めて、この町の発展に寄与できるように考えていきたいと思っております。

### 議員

大学生が活躍して、これから懸念するのは、今までは補助事業で3年間600万円で活動していたことが、今後同じようにするとしたら、町もそのぐらいの予算を立てて支援をするのかという質問でしたが、その辺の意気込みを町長の最後にお聞きをしたいと思えます。

### 町長

将来的に、地域を守ってくれるのは私も人材だと思っておりますので、ある程度の費用負担をしていくというのは、必要であると思えますので、具体的に数字を表示することは厳しいですが必要なものがあれば、しっかりと対応していきたいと考えております。

## 問 特別養護老人ホーム温心園の職員用APの空調設備等の整備について

### 町長

住環境をどうしていくのか総合的に検討する

### 議員

平成13年4月に施設敷地内に職員の確保を目的に建設された職員用APは、介護士の人材確保に大きな役割を果たしてきました。しかしながら、近年、若者世代の住宅に対する価値観の変化もあって、職員用APを快適な環境に整備することで、職員の満足度を向上させ、離職防止を含めた人材確保に繋がると考えます。

ここ数年、道北地区でも猛暑が深刻化しており、職員の衛生面や感染症予防の観点から、エアコンとウォシュレットの設置が必要と考えます。町長の考えをお聞きます。

### 町長

議員ご指摘のとおり、住環境は人材を確保するうえで、大変重要な要素であると認識しておりますので、施設等の今後のあり方も含め、温心園とも協議を進めてまいります。

### 議員

今まで我慢してきたところがか介護福祉士は、なかなか人材がいないという状態です。温心園はこ

2年間で退職者が1人もいないという、その施設の努力もあって、人材確保している中で、住環境をよくすることで満足度が上がり、離職防止につながるということを考えると、今年度で補正予算立ててもいいから、早急の実施をしていただきたいと思います。

### 町長

就任以来、温心園はしっかりと精査が必要だと思っております。アパートは職員住宅の建前で温心園の施設ではなく、温心園自体へ無償貸与している状況になっておりますので、この辺の整理もする必要があります。また、ウォシュレットなど、今後検討し、住環境をどうしていくのか、総合的に検討させていただきたいと思っております。温心園施設長とも協議しており、温心園施設長とも協議して、快適な生活空間をつくれるように努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。



町長から提案された予算案等は、総務産業常任委員会・予算決算常任委員会で慎重に審議が行われます。「豊富町はどうなっている？ 私たちの税金はどんなコトに使われているの？」委員会では、そんな疑問を解消するため議員から町の執行部へ様々な質問が投げかけられます。実際に行われた議員の質問と町の回答を一部ご紹介します。

### 豊富町育児用品購入費助成事業

(内容) 2歳未満の乳幼児を養育している保護者へ、育児用品を助成し、子育てにかかる経済的負担の軽減を図るもの。

**Q** 保護者から「足りない」との話は出ていないのか

保護者から五千円や一万円では足りないとは出ていないのか。

**A** 物価高もあり月額二万円まで増額する

五千円だと少し足りないとの声があり、これまでの助成では、月額八千円前後の領収書が提出されており、物価高の影響も考慮し、月額一万円に増額する。

**Q** 子育てする方から見て一万円で大丈夫か

紙オムツ代であれば八千円で済むかもしれないが、ミルク等も必要となるため、一万円で大丈夫か。

**A** 紙オムツ・哺乳瓶・指定ゴミ袋等の一部を助成する

対象品目に、粉ミルク・哺乳瓶・おしりふき・指定ゴミ袋があり、仮に1つずつ購入した場合、七千円から一万円ほどかかる計算となる。

宗谷管内では、出産祝い金五万円や十万円等が多く、本町は2年間トータルで考えると倍近く援助できることになる。

### 豊富町介護予防地域支援事業

(内容) 高齢者等が介護の必要な状態に陥り更に悪化しないよう介護予防を推進し、自立した生活が確保できるよう地域が一体となり必要な支援を図るもの。

※医療機関受診介助事業・配食サービス事業・外出支援事業・介護負担軽減短期宿泊費助成事業

**Q** 外出支援事業(地区巡回バス)の利用料の考え方

外出支援事業の改正のなかで、地区巡回バスは現在のところ無償

だが、この考え方として将来的には有償にする考えか。

**A** 当面の間は無償とする

現状では有償とは考えていないが、当面の間は無償とする考えである。

市街地はJRを中心に沿岸バス・ラッピングバスで稚味内まで運行し、地区は地区巡回バスが主になり、東から西まで全体を網羅した状態で、段階的に進めていく。

「介護予防地域支援事業」の詳細は、こちらからご覧ください。



### 豊富町過疎地域持続的発展市町村計画の変更

(内容) 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき、過疎地域の対策を図るため策定されている計画(令和3年度～令和12年度)について、後半分の計画(令和8年度～令和12年度)を変更するもの。計画に搭載された事業は財政的に配慮された過疎債の借入が可能となるなど、様々な支援措置を受け事業の推進を図る。

## Q 一次産業の担い手育成のための取組みは

一次産業の担い手育成で、酪農業・林業・水産業のことが計画に掲載されているが、戦術的なものがあるのか。担い手不足を補うためにどうしていくか抜本的に考える必要がある。一次産業を盛り上げていかないと町の活性化にもならない。

## A 酪農業や水産業だけでなく林業も状況をみながら新規就業を進める

酪農業や水産業関係は催し物をやっている所に向き、豊富町の新規就業に向けての研修をPRしたなかで、新規就業に結びつけてきた。林業は進んでいない状況であるため、今後考えていかなければならない。  
地元産業の高齢化により受入れが厳しくなると、ゼロベースからでは大変であり、状況をみながら新規就業を進めていく。

## 豊富町国民保護計画の改訂

(内容) 国民保護法に基づき、大規模テロから国民の生命・身体及

び財産を守るため、住民の避難・救援・被害を最小化する等の対策を的確かつ迅速に実施するために計画を策定するもの。

本町の計画は平成19年に策定され、今年度改訂を行う。

## Q 武力攻撃があった場合の想定は

計画に「武力攻撃がある場合」と書かれているが、武力攻撃があることが前提になっているが、どのような想定になっているのか。

## A 外部からの侵攻が想定され敵の侵攻により変化

外部からの侵略を想定しており、ここから避難しないと生命と財産を守れないと国が判断し、広域避難する事態となった際に、道南・道東・道外に避難する手段があり、敵の侵攻により変わってくる。

## Q シェルターもなく「逃げろ」と言われた時の対処は

災害時は施設へ避難することになるが、ミサイルなどが飛んでくる時代に、シェルターもなく、逃

げると言われてもどうしたら良いのか。

## A 「自らの命を守る手段」身を伏せ安全な場所に避難する行動が重要

計画には武力攻撃事態と緊急対処事態の2つの類型を想定しており、弾道ミサイルが飛来してきた場合は緊急対処事態(テロ・ゲリラなど)の事象となり、国からのアラートにより防災行政無線や携帯メール・SNS等で知らせる。ミサイル着弾時における自らの命を守る手段としては、本町には地下シェルターがないことから、室内にいる場合は窓ガラスのない部屋に移動することや、屋外にいる場合はなるべく低い所や堅牢な建物、排水路などをできる限り活用し、身を伏せ安全な場所に避難する行動が重要になる。  
これらの行動により、爆風や飛散物による被害を軽減し、自らの命を守ることが基本となる。

「弾道ミサイル飛来時の行動について」の詳細は、こちらからご覧ください。



## 議会とよとみ表紙写真募集中!

豊富町議会では、豊富町で撮影した写真及びメッセージを募集します!ご応募いただいたなかから選定し「議会とよとみ」の表紙写真とさせていただきます。たくさんおご応募お待ちしております!

**応募資格** 豊富町の写真を撮影した方

**募集内容** 風景・人物問わず豊富町で撮影した写真と100文字以内のメッセージを募集します。笑顔になれる大人・子どもの写真や、心癒される風景写真などお待ちしております!  
写真サイズはできるだけ大きく、JPG形式でお願いします。

**募集期間** 随時募集

**応募方法** 下記アドレスに、件名「議会とよとみ表紙写真」と記入し、本文にメッセージと連絡先(住所、氏名、電話番号)を記入の上、写真を送付してください。  
gikaijimukyoku@town.toyotomi.hokkaido.jp

# 特別養護老人ホーム 温心園



施設長 うえむら ひであき 植村 秀明  
 総務係長 まつだ よしひさ 松田 能央 / 生活相談係長 やまもと かな 山本 佳奈  
 介護係長 しらいし てつや 白石 哲也 / 介護係長 やまぐち あらた 山口 新

令和8年2月16日（月曜日）に特別養護老人ホーム温心園から5名の職員に参加いただき広聴会を開催し、業務中での困りごとや利用者にかかる要望などを確認することができました。

職員から出された要望などの一部を紹介します。

特別養護老人ホーム温心園の職員のみなさまご協力ありがとうございました。

広報広聴  
常任委員会

## 広聴会

■開催日 令和8年2月16日  
 ■参加議員 ちば ひさし 千葉 久  
たけなかつかひろ 竹中隆浩  
おがさわら てるみ 小笠原照美  
かまくら かずお 鎌倉和雄  
みと べまさひろ 水戸部正博



## 温心園からの要望など

### 冬期間の除雪(朝)について

介護及び調理員の早番就業開始の6時に合わせ、5時半ころ職員が出勤となるが、除雪が出勤時間と重なることが多いため、配慮いただくと助か

### 八幡神社祭に合わせた歌謡ショーの復活(温心園への慰問来演)について

コロナによるイベントの中止などにより、祭典委員会が誘致する八幡神社祭の歌謡ショーの慰問がなくなりました。利用者も楽しみにしているため復活をお願いしたい。

#### 感想

これまで、温心園の建物や地盤沈下の修繕などを予算書のみで把握しており、たくさんのお話を伺うことができ、とても勉強になりました。職員みなさんの意見を行政に反映できるように頑張っていきます。



### 医療機関への移送(管外医療機関へ入院や医療間の転院時など)について

町内に移送サービス事業所がないため、近隣市町村の移送サービスを利用しており、利用者や家族に不便をかけている。町の社会福祉サービスの一環として、安価で利用できるサービスの構築をお願いしたい。

### 町外からの入職者(転居者)への転居手当等の支給などについて

過疎地域の医療・福祉を継続するためにも、医療系や介護系の職員誘致の支援策として、入職者に対して転居しやすい支援(転居手当等の支給など)があると誘致しやすい。

### 町内のスーパーや商店、生活雑貨の取扱店の誘致について

利用者の嚙下状態に合わせた嗜好品の選定や衣類のサイズ確認など、目や肌で感じて選定をしたいが、取扱店が少ないため、スーパーや取扱店を誘致して欲しい。

# 広報広聴常任委員会 提言書を提出

To町長

令和8年3月3日に、  
広報広聴常任委員会竹  
中委員長から町長へ  
「令和7年広報広聴常任  
委員会 提言書」を提  
出しました。



提言書は、広聴活動として実施された「広聴会」において、  
町民の皆さまからいただいた貴重なご意見や要望をまとめて  
作成しており、令和7年は4団体延べ21名への聴き取りを実  
施することができました。

また、豊富高等学校と豊富中学校のご協力により、生徒から  
執筆いただいた「中学生の声」「高校生の声」が寄稿され、若い  
世代が抱く豊富町への想いや意見等を伺うことができました。

この提言書の内容について、町民からの率直な意見として  
受け止め、町政へ反映させていただきたいことを竹中委員長  
より河田町長へお伝えしました。

今後も、皆さまからの声をしっかりと町執行部へ届けられる  
よう、議員一同、努めてまいります。

## 活動報告

■開催日 令和8年3月3日

■参加議員 千葉 久

ちば ひさし  
たけなつかひろ  
竹中隆浩

おがさわら てるみ  
小笠原照美

かまくら かずお  
鎌倉和雄

ささ きまさよし  
佐々木政義

み と べまさひろ  
水戸部正博



### 令和7年広聴活動 ～あらし～



#### 豊富高校町外通学生

■開催日 令和7年5月13日(火) ■参加者 8名

豊富高校の町外通学生(稚内・幌延)に「JR駅舎の改善」や「バ  
ス送迎の現状」など通学で不便なことを伺いました。



#### 豊富温泉コンシェルジュデスク

■開催日 令和7年7月2日(水) ■参加者 3名

スタッフや健康相談員に「施設の修繕」や「給与や待遇面」な  
どの要望や困りごとと相談業務の現状を伺いました。



#### JA北宗谷青年部宗谷支部

■開催日 令和7年11月21日(金) ■参加者 4名

現在の農家の状況を伺い、青年部から議員への質問として  
「議員としての思いや心構え」を共有しました。



#### 豊富中学校生徒会役員

■開催日 令和7年12月15日(月) ■参加者 6名

地域貢献のアイデアとして「集える場所」や「道の駅」など  
の提案と、進路と将来の夢を伺いました。

議会とよとみ  
No252



↑  
スマートフォンをお持ちの  
方はこちらも  
ご覧ください

↓  
議会とよとみ  
No254



## ＼ 高校生の声 ＼

### 豊富町を住み続けたい 町にするために



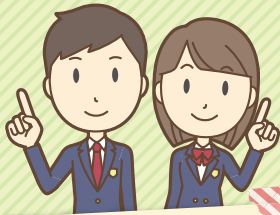
豊富高校3年生

たかはし そうた  
高橋 颯汰さん



「豊富が住みづらい」や「豊富が嫌い」という気持ちよりも、都会への憧れなどで出て行きたいと思う人がほとんどだと私は感じています。目新しいお店などがたくさんできたり、カラオケなどの娯楽施設が充実したりしない限り「住み続けたい」と思う子どもたちは少なくなる一方ではないでしょうか。高齢化の影響も相まって店の数は減少するばかりで新しい店も立たず、いつかは他の町や市と合併してしまうのかなと個人的には感じています。

若者に住み続けたいと思わせるためには、娯楽施設を設けることに加え、新しい豊富のあり方を作る必要があるのではないでしょうか。子育てをするときに家族の手助けを求めて実家へのUターンを選択する人もいます。それに現在オンライン会議やオンライン出社などで、働く場所を問わない働き方もできます。この2つを支援する制度、例えば子育てをする親たちの交流の場を増やす、デスクワーク用の椅子と机を購入する際の資金援助などがあると良いのではないでしょうか。これらを大々的に宣伝することで、最前線のTOYOTOMIとして話題になり、人を呼び込むばかりでなく、人口増加に繋げることもできると考えます。



## ＼ 中学生の声 ＼

### 豊富町に一言！

豊富中学校3年生

うえむら たいち  
植村 太一さん

私は、豊富町に、町を活用した取り組みをより多く行ってほしいと思っています。

なぜなら、豊富町の人口は少なく、いわゆる過疎地域になっていて、町を活性化させる必要があると思います。

ここでいう町を活用した取り組みというものは、町の自然や歴史、文化を生かしたイベントのことです。たとえば「八幡神社祭」や「スノーランドわんぱーく」などが挙げられます。八幡神社祭は、昔からある豊富町にある伝統文化であり、地域に根付いています。また、スノーランドわんぱーくは、雪が多く積もり、遊ぶことができる広い場所を持つ豊富町だからこそ行えるものです。

このような、文化や自然を生かした取り組みを多く展開し、町民が楽しむだけでなく、観光客向けに魅力を発信していくことで、より多くの人々が豊富町を訪れると思います。そうして、豊富町の経済、文化がもっと活性化し、町に少しでも活気が出て、発展につながると良いと考えます。



次回定例会は

6月です

(6月中旬開催予定)

議会を傍聴して  
みませんか



議員は議場でどんな発言をしているのか、どんなまちづくりを考えているのか、今後の町の方向性を直接聞くことができるいい機会です。ぜひ、お越しください。

豊富町議会広報紙  
議会とよとみ 第255号

発行日/令和8年5月13日

発行責任者/議長 千葉 久

編集/広報広聴常任委員会

【豊富町議会事務局】

〒098-4110 北海道天塩郡豊富町大通6丁目

TEL 0162-73-1755 FAX 0162-82-2806